

## 平成28年度第4回理事会議事録

日 時 平成29年3月18日(土)13時30分～15時10分  
場 所 北海きたえーる 小研修室  
出席者 近藤龍夫、嶋倉 昭、紺屋正雄、生島典明  
渋谷研一、大江憲一、須田正毅、田中昌幸  
丸山道博、印藤智一、櫻庭功一、碓井喜晴  
春間好実、佐藤敏夫、西谷光司、西谷清之  
高橋克徳、関原榮司、山内孝夫、松本秀樹  
中川裕行、宮原 勉、奈良孝伸、福原英典  
武田和夫、大橋公徳、畠山彩子、高坂 猛

### 1 開 会

総務委員長から理事30名中27名が出席しており、理事会は成立する事が報告された。

### 2 会長あいさつ

年度末のお忙しい中、出席いただきお礼。平成28年度は地区対抗中学選抜大会を残すだけで、諸事業は全て無事終了。皆様のご協力に感謝。2018年世界選手権女子大会と翌年のワールドカップ女子大会の札幌開催が内定し一安心。これら大会を成功させることで北海道バレーボール、ジュニア層の発掘を進めてほしい。また、「ヴォレアス北海道」は来年度からVチャレンジリーグに参戦することが決定した。皆さんと共に応援したい。

### 3 議事録署名人の選出

規約に基づき会長が議長を務め、議事録署名人に近藤会長のほか中川理事、春間常任理事の2名を決定した。

### 4 報告事項

#### (1) 平成29年度協会運営の基本方針(案)について

理事長から説明があり、運営の基本方針は原案のとおり決定された。

#### (2) 平成29年度事業計画(案)について

各委員長から次の説明があり、事業計画は原案のとおり決定された。

##### ①総務委員会

・例年どおり各種会議を開催するほか、財政等検討委員会からの提言の具現化を目指す。

##### ②競技委員会

・競技日程は例年どおりだが、H29は櫻田記念9人制大会が12月に函館で開催、H30はスポーツマスターズと世界選手権女子が開催される、H31は東日本インカレ、全日本クラブカップ6人制男子とワールドカップ女子開催される。また、道協会HPリニューアルをH29中に完成させる。6・9人制総合大会の競技・運営方法の工夫と出場しやすい開催地の調整をする。なお、H29競技日程で6人制総合南大会は2/18、北大会は3/4に変更。

③審判委員会

・例年どおりの日程と併せ、育成基金を活用した事業を進める、A級と9人制特別A級資格取得審査会にそれぞれ派遣、ビーチバレー講習会に上総氏を派遣、北海道Vスクールを4/29～30開催する。

④強化委員会

・例年どおりの日程に併せ、強化・育成基金活用事業で国体少年強化対策事業を行う、指導普及委員会と連携して中学生強化交歓大会を開催し、6年後の2023インターハイ北海道大会への強化につなげる。

⑤指導普及委員会

・各事業を進めながら基金事業で強化交歓大会を開催し、6年後の2023インターハイ北海道大会への強化につなげる。

<質疑>

○9人制特別A級審査会について

⇒全国的には実業団を中心に9人制チームが多く、全国大会の審判スキルを維持するため、日B級審判員から選出している。国体も現在は9人制競技がないが、2020東京五輪後に向けた9人制復活プロジェクトを日本協会を進めている。

(3) 平成29年度一般会計・特別会計予算(案)について

総務委員長から、新年度予算には平成28年度の繰越金が見込まれることから80万円を計上、収入は賦課金の改定などにより207万4千円増、支出は強化費で90万円増額し、大会参加料は全て開催地に支出するほか、人件費、旅費の増を見込み収支額と同額とした。また、特別会計予算は強化・育成基金の第2期事業などを計上したとの説明があり、一般会計・特別会計予算は原案のとおり決定された。

<質疑>

○天皇杯・皇后杯のJVA助成は参加チームが16チーム以上なければゼロか。

⇒15チーム以下は1チーム4000円の助成金は交付されないため、20チーム以上の参加を目指す。

○総合大会の目的は。

⇒3年間、地方で活動するチームの掘り起こしを図るため開催したが、見直しも必要と考えている。

(4) 平成29年度定時評議員会・臨時評議員会の開催日時等について

総務委員長から説明があり、次のとおり決定された。

① 定時評議員会(現評議員が出席)

○日時 平成29年5月20日(土)15時00分～

○会場 ホテルノースシティ

○目的 ・平成28年度決算書類等承認の件

・役員選任の件

・規約変更の件

② 臨時評議員会(新評議員が出席)

○日時 平成29年5月20日(土)16時30分～

○会場 ホテルノースシティ

○目的 ・議長選出の件

(5) 役員等選考委員会委員の選考について

総務委員長から、選考委員には近藤会長、渋谷理事長が決まっているが他の委員は理事会決定事項との説明があり、候補者として評議員代表は川埜評議員、監事代表は川村監事、常任理事代表は黒田副理事長が提案され、提案のとおり決定された。

(6) 北海道バレーボール協会規約の一部改正について

総務委員長から、常任理事の定数変更について次のとおり説明があり、規約の一部改正は原案のとおり承認された。

・現在、理事長・副理事長の3名で5つの委員会を分担しているが、正・副理事長がより濃密に委員会と関わり、諸課題を円滑に解決していくため副理事長1名を増員し3名とする。また、全国で通用するチームの育成、強化などの諸課題に対応して、今後、当協会が重点を置いて取り組むため常任理事1名を増員する。

なお、規約の改正は評議員会の決定事項であり、今理事会で承認された後、5月評議員会に提案する。

(7) Vプレミアリーグ等助成金交付要綱の一部改正について

総務委員長から全国大会の助成金を廃止することに伴い、全国大会の開催地が赤字になった場合の支援策として、Vプレミアリーグ等助成金交付要綱を活用できるよう本要綱を改正するとの提案理由の説明があり、要綱の一部改正は決定された。

(8) 加盟団体申請規程に基づく加盟団体の統合について

総務委員長から岩見沢協会から美唄協会と統合する申請書が3月1日に提出されたことが説明され、統合については承認された。

<質疑>

○統合の目安などあるのか。他地域も参考にすべきなのか。

⇒新たな加盟団体設立には10チーム以上の登録が必要だが、一度加盟すればこの要件は適用されない。過去の地区協会の統合は、砂川協会が滝川協会に、夕張協会が岩見沢協会に統合している。

○OH29予算に影響はないのか。

⇒加盟団体賦課金で1協会分減るが、これについては決算で調整したい。

(9) その他

①倫理委員会からの処分の決定について

総務委員長から、平成29年2月22日付で北海道教育委員会から懲戒処分を受けた胆振管内高等学校の男性教諭について、倫理委員会は「道協会が主催又は共催する競技会及び事業への出場並びに活動は無期限停止」とする処分内容を決定したことが報告され、この処分内容で会長が通知することを決定された。

<質疑>

○処分の基準はなにか。

⇒委員会が処分を決定する際、日体協公認スポーツ指導者処分基準を参考にしており、その基準では被害者が全治1か月以上の傷害を負ったときは資格停止であること、また、

今回の懲戒処分が2回目であることなどから無期限停止としたと伺っている。

○高体連で対応はどうか。

⇒この件は専門部に報告している。

○道教委での対応。

⇒社会的な問題となっており、バレーボール競技で繰り返し起きており大変な問題。

○無制限とは復権する可能性はないのか。

⇒倫理委員会では考えていないようである。

○全日本監督中垣内氏の交通事故の件はどうか。

⇒日本協会はけん責処分とした。なお、4/1からの新体制で監督就任となる。

② 第12回北海道高等学校バレーボール新人大会での問題について

審判委員長から男子決勝戦で審判によるミスがあり、その経過と対処内容について報告された。なお、審判委員長会議、伝達講習会、専門委員会などで同様の報告をする。

・競技委員会と協力し、全国大会につながる決勝等でJVIMSシステムを活用する。

<質疑>

○高体連での報告は大会代表者会議で行ってはどうか。

⇒その方向で行っていく。

○結果はそのままなのか。

⇒ゲームは終了し、大会も閉会宣言されており、結果は覆らない。

5 報告事項

特になし

6 その他

5月に開催される理事会・評議員会后、同会場にて新旧役員が参加する交流会を予定している。

7 閉会

【次回理事会：5月20日（土）13時 ホテルノースシティ】

議事録署名人

会長

近藤 龍丸

議事録署名人

中川 裕行

議事録署名人

春間 好実